



忘年会実行委員長 森 一雅
(ISETAN OF JAPAN SDN. BHD.)

2005年12月15日19：00シャングリラホテル。ご来賓を含め、JACTIM会員517名が参加した2005年JACTIM会員忘年会が始まった。私を含め、実行委員のメンバーはこの日が来るのをずっと待っていた。長くて短い半年であった。

まず始めに、大変ご多忙の中、忘年会にご列席いただいた今井大使ご夫妻、横井公使ご夫妻、神川日本人会会長ご夫妻始め、多くのご来賓の皆様また、鈴木会頭を始め、会員の皆様の多大なご支援、そして、実行委員の皆さんのご尽力により、忘年会を無事終了できましたこと、この場をお借りして皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。今年のJACTIM活動のトリとして、このように会員の皆様が一同に会して歓談をしながら、今年を振り返り、また来年に繋がる機会を和やかに持てました事はこの上ない喜びでありました。今回の忘年会に、私は東京のビジネスパートナーを招きましたが、海外を含め、いろいろな宴に参加している彼がKLでこのような盛大な忘年会が行われているのに大変驚き、規模の大きさと質の高さを感じるという彼の言葉が印象的でした。一方、運営に際し、不行き届きの面が多々あり、皆様には充分にお楽しみいただけたか気がかりではございますが、足りない部分は皆様の声を吸上げ、来年に繋いでいきたいと思っておりますので、ご容赦の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、実行委員のメンバーは実際に演技したり、進行に傾注しているため、現在作成中の忘年会収録のDVDを見るまで会の全体感は把握しずらく、夫々のパフォーマンスの回想は反省会で行う予定です。このため、視点を舞台裏に当てて、報告いたします。

(忘年会が始まるまでの舞台裏の回想)

7月の理事会で忘年会実行委員長を仰せつかった。1年のJACTIM活動を締めくくる忘年会の実行委員長という大役を経験の浅い自分で務まるのか、また、歴代の実行委員長のお名前を伺って、身が引締まる思いであった。何をするのか、何から始めるのか、頭の中で思いだけが駆け回り気持ちが落ち着かない状態であった。早速、忘年会の名ディレクターとして経験豊富な、アサツの井上社長と連絡を取り、忘年会の準備についての話を伺

った。そして、まず実行委員選出から取り掛かった。事務局の永江さんの豊富な情報と、過去に活躍された方の情報などを交え、候補者のリスト作成を始めた。そして、実行委員の会社の代表の方と連絡を取り、実行委員派遣の協力をお願いした。代表の皆さんは、業務上支障があることを知りながらも、忘年会に対する深いご理解を示していただき、快く承諾してくれた。そして、同じ頃、オーストラリアに行かれる富士写真フイルム町田前実行委員長を囲む親睦会で、昨年のメンバーと今年のメンバーの何人かが集まる機会があった。そして、前年大成功した『お祭りジャパン』のパフォーマンスを旧メンバーが再現した。目の前で見える演技は真に迫るものがあり、その躍動感に圧倒され、感動を覚えた。そして、別れ際にメンバーから「今年も頑張ろう。宜しくお願いします。」という団結の言葉があり、いよいよスタート台に立った気がした。

夏休みをはさみ、9月に第一回実行委員会を開催した。各自、自己紹介で始まり、普段では全く会えない異業種のメンバーとの顔合わせに、やや皆、緊張した様子。そして早速、本年の忘年会企画についての検討に入った。前年の反省を洗い出し、また、忘年会ベテランの帰国で前年と今年のメンバーの置かれている状態の違い等を踏まえながら、何ができるのかを検討した。運営上、実現可能かどうかを熟知している井上ディレクターや同じく名ディレクターの加藤博報堂社長の意見を踏まえ、昨年とは多少違う企画の忘年会を行うことで意見が一致した。第2回目から4回目(11月下旬)にかけての実行委員会は、各項目での具体的な確認を行った。実行委員会日程、パフォーマンス練習日程、配役、担当割、準備品、景品仕分け、外部への委託事項、中でも一番のポイントである会場のシャングリラホテルの八幡さん、エリックとの打合せは回数を重ねた。参加人数が確定するまで、予算の関係上、詰めなければならない事柄が多く、舞台を含めた会場準備にも多くの協力をお願いした。平行して、パフォーマンスの『JACTIMチアーズ』や『JACTIMウォーターボーイズ』は、12月に入ると連日猛練習を行い、本番舞台へと気合が入っていった。JACTIMの会議室で夜、井上ディレクターから厳しい指導を受け水着を着て練習していたメンバーの姿をお見せしたかった。忘年会本部である永江さんやJACTIMスタッフの皆さんは全ての準備を期限内に仕上げなければならず、連日、大変な労力を費やした。そして、忘年会前日の最終実行委員会で、最後の準備確認を行い、明日のリハーサルの打合せを確認して、明日を待った。

当日は、昼過ぎから関係者が集まり、会場準備の確認、舞台セッティング、映像、音響の確認後、リハーサルに入った。クイズ進行役の加藤さん(デロイトカシムチャン)、今井

さん(オリックス・シング)も舞台上での位置の確認やマイクの調子確かめた。密田隊長率いるシークレットサービス部隊のメンバーを始め、チアーズ、ウォーターボーイズのパフォーマンスチームは、舞台のスペース、入場経路、音響とのタイミング、踊る位置など確認し、実際に演技して感触を確かめた。JAMAMバンドの皆さんも音合わせで音響を確認した。両ディレクターは観客席からどのように見えるのか、舞台での位置や話し方、時間配分など細部に至るまで目を配らせ最後の修正を演技者に指示した。そして、映像・演技と音響のタイミングを両方で確認、fixしていった。二人のツアーのやり取りは「さすがプロ」でした。矢部さんもヘッドマイクで本部とやり取りし、VIPお迎え、演技者の招集など忙しく動き回っていた。そして、皆さんが揃った19:00過ぎ、私は震える膝を押さえながら、第一声を放った。後は夢中で時が経つのを忘れていた。そして、瀬木副会頭の閉会の辞、続いて副会頭の皆さんの音頭による1本締めで会を閉会した時、23:00を過ぎていた。会が終了し皆さんを送った後、実行委員の方との記念撮影、そして打ち上げの乾杯を行った。実行委員や応援者の誰もが、この時の酒の美味さを忘れられないと思う。

以上、長々述べさせていただきました。最後に実行委員のメンバーの紹介と多数ご寄付をいただいた会員企業名を記してそのご協力、ご支援に心より御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

実行委員会メンバー（順不同）

森実行委員長（イセタン）、加藤ダイレクター（博報堂）、井上ダイレクター（アサツーDK）、密田委員（双日）、高羽委員（日本興亜損害保険）、藤井委員（JCBインターナショナル）、浅生委員（イセタン）、川口委員（住友商事）、板井委員（コクヨ）、長瀬委員（豊田通商）、加藤委員（デロイトカシムチャン）、矢部委員（エクアトリアルホテル）、中川委員（時事通信）、今井委員（オリックスリーシング）、三宮委員（パークロイヤルホテル）、八幡委員（シャングリラホテル）、エリック氏（シャングリラホテル）、大竹事務局長（JACTIM）、永江事務局長（JACTIM）

ご協力をいただいた皆様（順不同）

<寄付金>

ソニーサプライチェーン ソリューションズ	NECマレーシア
三井物産	JFEスチール コーポレーション
トヨタ自動車	丸紅
三菱商事	近鉄インテグレートッドエアサービス

プライスウォーターハウスクーパーズ
上田鍍金マレーシア
千代田マレーシア
NECセミコンダクターズ マレーシア
伊藤忠商事
小倉造園
住友商事
NTT MSC
マレーシア日本通運
エイシアン NDKクリスタル
双日
CADIX研究開発マレーシア
ケミコン マレーシア
クラリオン マレーシア
オムロン マレーシア

SNKOセラミックス マレーシア
リョーシンドウ マニュファクチャリング
ECLマレーシア イースタンカーライナー
マトメック
トーマン
川崎重工業
明電舎
岩通マレーシア
三光産業マレーシア
奥村金属マレーシア
千代田インテグレ
マレーシア ヤマト運輸
広重マレーシア
マイクロメタル
サトー マレーシア エレクトロニクス マニュファクチャリング

<ラッキードロー賞品寄付>

マレーシアアンシートグラス
協和観光開発 (テンブラパークカントリークラブ)
リージェントホテル
スリーボンドテクノロジー
イオン マレーシア
豊田通商マレーシア
イセタン オブ ジャパン
三井住友海上火災保険
JACリクルートメント
シャープグループ
トヨタ自動車
マレーシア日本通運
マンダリンオリエンタル クアラルンプール
東京海上日動火災
東芝エレクトロニクス マレーシア
富士写真フィルム
日本航空インターナショナル
JFEエンジニアリング

東レインダストリーズ マレーシア
ホンダ マレーシア
UFJ銀行&ブミプトラコマース銀行
ヤマハミュージック マレーシア
インタームーバーズ&ストレージ
商船三井マレーシア
日本興亜損害保険
味の素マレーシア
パナソニック グループ
サイム レンゴー パッキング
パンパシフィックホテル クアラルンプール
全日空
日本貨物航空
金鳳堂
東京三菱銀行
大洋リゾート (カジャンヒルゴルフクラブ)
JTインターナショナルタバコ
デンソーマレーシア

JVCビデオ マレーシア

富士ゼロックス

JVCエレクトロニクス マレーシア

エクアトリアルホテル クアラルンプール

エクアトリアルホテル ペナン

エクアトリアルホテル キャメロンハイランド

エクアトリアルホテル バンギ・プトラジャヤ

エクアトリアルホテル マラッカ

オリックスリーシング マレーシア

キャノン マーケティング マレーシア

三井住友銀行

ジャルパック マレーシア

プロドゥア・オート・コーポレーション

オーレックストラベル&ツアーズ

プリンスホテル&レジデンス クアラルンプール

稲ぎくマレーシア

プリンテリジェンス

ヒルトン クアラルンプール

損保ジャパン

カヤバマレーシア

シャングリラホテル

実行委員用プレ食事おにぎり100個

ジパング

大型賞品搬送

マレーシア日本通運

ラッキードロー賞品アレンジ・受け渡し

イセタン日本人スタッフの皆様

音響・照明ダイレクター

博報堂・加藤ダイレクター

総合ダイレクター

アサツーDK・井上ダイレクター